



こ・ろ・ん

新年あけましておめでとうございます

新年あけましておめでとうございます。

まずは昨年 9 月 6 日に北海道胆振東部地震及び大規模な停電があり、被災された方々には心よりお見舞い申し上げます。当時当院でも診療が困難となり、とくに透析医療がまったくできなくなってしまいました。いつ停電が解消されるかわからないまま、非常に不安な時を過ごしました。防災意識が高まり、防災設備への投資の必要性も強く感じました。ただ“天災は忘れた頃にやってくる”というのはよくいったもので、次に明日くるのか 100 年後にくるのかかわからない状況で、防災意識を保ち続けられるか、設備に投資し続けられるのか、課題が残りました。

さて、今年は平成最後の年となり、5 月には新しい年号へ変わります。当院では昨年健康診断ブースを設置しており、引き続き地域の皆さまの健康を守っていきたいと考えております。震災と同様、特に悪性疾患はいつ発病するかは予知できないことが多々あります。健康診断をお受け頂くことによって、ある程度の発病予測、重症化する前に早期発見ができることがあります。当院では消化器を中心とした癌の早期発見にも力をいれております。

今後とも、疾患の予防及び早期発見でも地域の皆さまに貢献して参りますので、よろしくお願い申し上げます。

院長 葛西 健二



《 目 次 》

1. 葛西院長より新年のごあいさつ
2. 金谷科長による「人工透析教室⑤」
3. 三和公明先生の胃部検査講座
4. 石橋胃腸病院の取り組み



医療法人菊郷会 石橋胃腸病院

TEL 011-872-5811 FAX 011-872-5814

<http://www.ishibashi.or.jp/>

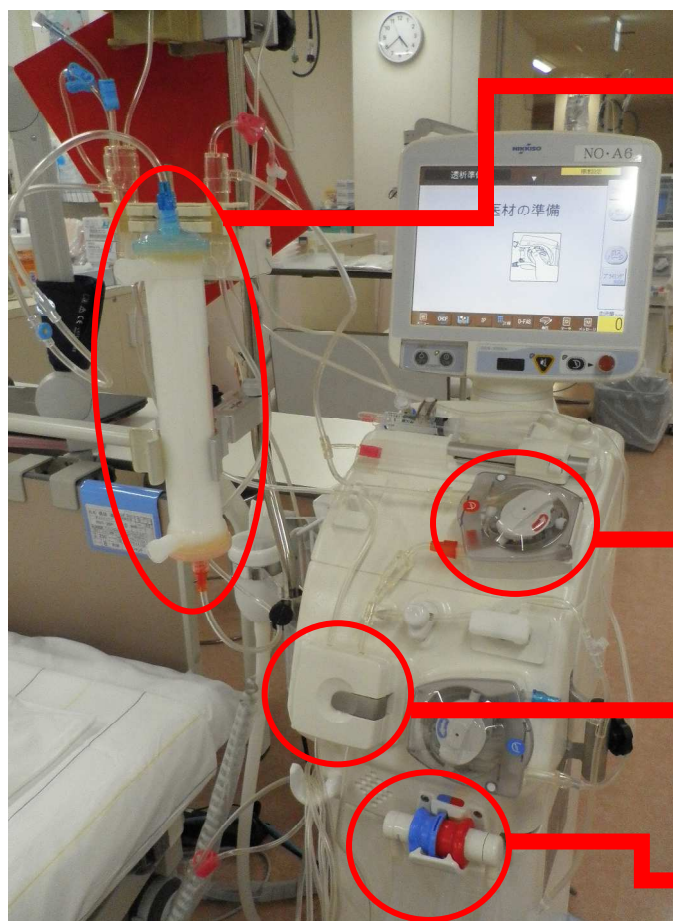




糖尿病や免疫異常等、様々な原因により腎臓が機能しなくなった場合に、腎臓の代わりをするのが人工透析です。血管に針を二本刺してポンプで血液を透析の機器に通し、綺麗になった血液を再び体内に戻します。この一連の流れを通常週3回、1回につき3～5時間行うのが透析です。今回は人工透析に使用する機器について紹介していきます。

◇ 透析で使用する機器とは？ ◇

特殊な装置を用いて透析は行われます。安全に毒素や水分を除去するために多種多様な機能が付いています。



ダイアライザー

腎臓の代わりをする最も重要なもの

ダイアライザーでは体内に不必要なもの（水、老廃物等）を血液から除去します。

血液ポンプ

血液を体内から回路に送るポンプ

安全装置

空気(気泡)検出器

透析液が流れて来るライン

このような複雑な機械を使用して、透析を行っています。現在透析室には上記のような機械が28台あり、ほぼ毎日稼働しております。



水処理装置：水道水を純水(きれいな水)にする装置



透析液溶解装置：透析液の原液を製造する装置

その他にも透析液を作成するための水処理装置や、透析液を溶解する機械、水処理フィルター等多種多様の機械が沢山あります。

石橋胃腸病院では上記の機械がほぼ365日稼働して安全で安心な透析を行っています。





健診担当医 三和公明先生の胃部検査講座



がんは平成 28 年札幌市民の死因の 34%を占めています。また、部位別死因割合で胃がんは肺・大腸・膵臓に次ぐ 4 番目に多い部位だと発表されています。

(人口動態調査：平成 28 年)

今回は胃部検査における、よく受ける質問にお答えしたいと思います。

Q どんな検査をするのでしょうか？

A バリウム検査は、まず発泡剤とバリウムを飲み込みます。検査台で体を上下左右に動かし、胃の観察をする検査です。胃の表面についたバリウムの状態を観察することで、粘膜の荒れや、潰瘍、胃がんなどによって起こる変化を見つけることができます。

胃から十二指腸へ流れていく様子を見ることができ、胃全体の形を観察することができるのが大きな特徴です。

内視鏡検査は、先端についた小型カメラを口または鼻から入れ、胃の中を直接映像で観察するので小さな病変を発見することが可能な検査です。カメラが挿入される違和感を苦痛と感じ敬遠される方が多いですが、当院では嘔吐反射が起きにくい直径 5.9 ミリの細いカメラを使用しており、多くの皆さまが苦痛の軽減を実感されております。

鉛筆よりも細い内視鏡
《原寸大》

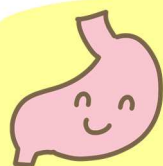


Q バリウム検査と内視鏡検査、どちらを受けたいのでしょうか…？

A バリウム検査は、胃の全体像を確認することが出来ます。内視鏡検査より苦痛が少ないと言われています。しかし、健康上問題はないですが一定量の放射線被ばくやバリウムによる便秘を起こす可能性があるというデメリットがあります。

内視鏡検査は、直接カメラを挿入しているので、“がん”が疑われる病変があれば、その場で組織を一部採取（生検）して、病理診断によって本当に“がん”かどうかの確定診断をつけることができます。

早期の胃がんでは、バリウム検査では病変部がわずかな隆起や凹み、色のちがいとしてしか認識できないことが多いため、内視鏡検査の方がこうした病変の指摘には優れていると言われています。また、病理診断への移行がスムーズに行えるため全国的に内視鏡検査が推奨されています。



札幌市の胃がん検診の内容が
平成 31 年 1 月から変更になります!!
料金、対象年齢・受診間隔・が変わります。



料 金	【変更前】 2,200 円	⇒	【変更後】	バリウム検査	2,200 円
				内 視 鏡 検 査	3,500 円
対象年齢	【変更前】 40 歳以上	⇒	【変更後】	50 歳以上	
受診間隔	【変更前】 1 年に 1 回	⇒	【変更後】	2 年に 1 回	
				(原則偶数歳)	

バリウム・内視鏡から
選べる様になりました!

まずは健診受付までお問い合わせ下さい!

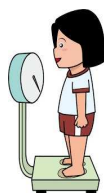
月～土曜日 8:45～17:00(土曜日は 12:30 まで)

☎電話番号 011-872-5811(代表) 小山・高橋



石橋胃腸病院の取り組み

～今年も福島の子供たちが健康診断を受けに来ました。～



福島県在住の8歳～21歳までの26名の子供たちが冬休みを利用して、健康診断を受けました。健康診断では、計測・尿検査・血液検査・心電図検査、そして原発事故による内部被ばくの健康影響等の心配から甲状腺エコー検査も実施。以前にも来ており、慣れた様子で受ける子、初めてで緊張した表情の子。最後には皆笑顔で無事に検査を終えることが出来ました。

当院では地域の皆様はもちろん、福祉団体にも協力し、最適な医療を安全に提供できるよう努めて参ります。



※今回の健康診断は「札幌協働福祉会」を通じて、当院にて行うこととなりました。



医療法人菊郷会 札幌センチュリー病院

〒003-0825
札幌市白石区菊水元町5条3丁目
5番10号

Tel : (011)871-1121
Fax : (011)871-0047

診療科目

内科・消化器科・人工透析外科・
外科・乳腺外科・泌尿器科・
循環器内科・整形外科

関連病院



医療法人菊郷会 愛育病院

〒064-0804
札幌市中央区南4条西25丁目
2番1号

Tel : (011)563-2211
Fax : (011)522-1106

診療科目

内科・血液内科・乳腺外科・
消化器内科・糖尿病内科・
外科・整形外科・小児科・
麻酔科・リハビリテーション科・
循環器内科

医療法人菊郷会 富丘腎クリニック

〒006-0011
札幌市手稲区富丘1条4丁目
5番33号マックスビル3階

Tel : (011)686-5005
Fax : (011)686-5006

診療科目

人工透析（外来のみ）

